

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

B-step3, C-step3, K-step3

つきたい力：テスト作成を通して、問題を分類する力、学習の定着を図る。

学習の流れ

課題設定：テストに出そうな問題を想定する
チェックリストの作成（一斉）
情報収集：教科書、計算スキル
チェックリストの内容
整理分析：問題をチェックリストに沿って分類しまとめる。
表現発信：テストを作成する。

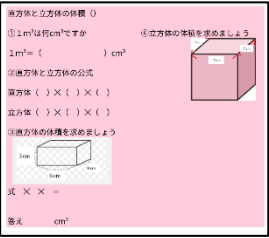
- チェックリスト
- ☐ 直方体・立方体の体積
 - ☐ 直方体・立方体の公式
 - ☐ 階段型、でこぼこの体積
 - ☐ 単位を変える
 - ☐ 一辺の長さが変わるとどうなる
 - ☐ 内のりと容積

指導の流れ

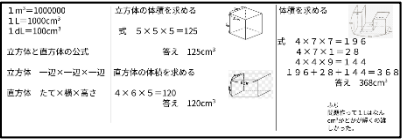
- ①学習の流れを示し、今まで学習してきた内容を振り返るとともに、チェックリストを作成する。
チェックリストを参考にしながら、学習内容を網羅できるようにテストを作成する。
→ 学習内容の定着を図る



共有ノート
座席順に配置



成果物



学習コンテンツの活用

- ・ padlet
→ 集めた情報の共有。疑問の解決
- ・ ロイロノート（共有ノート）
→ ①集めた情報をメモとして残し、学習の過程を共有するために利用。
②本時の学習の流れの提示、および本時の目標について提示するために利用。
③成果物の作成のために利用。
- ・ google スプレッドシート
→ 共有状態でのふりかえり、即時評価



教員の関わり

- ・ 共有ノートを確認して、必要に応じて児童の支援をする。
- ①情報の集め方を伝える。
(市販プレテスト問題・計算ドリル・教科書・学習ノート等)
- ②足りていない情報を助言する。
(チェックリストの活用、問題の分類[約分の有無、帯分数の有無など]について参考にする資料の助言、レイアウトなどのアドバイス)
- ③活動が止まっている児童の支援 など
・ 児童の活動が止まった時用にヒントカードを用意する。
・ 個別の取組み、グループでの相談などを適時指示する。

子どもの変容

- ・ 苦手な部分に注目して、活動に取り組む姿が見られた。
- ・ めあてを持ってテストを作成することで、単元の内容を主体的に振り返ることができた。
→ テスト問題の作成を通して、自分の苦手気付くとともに、学習内容の定着を図ることができた。
- また、自分だけの問題なので、主体的な学びになった。
- 他の児童の作成した問題を共有したことで、自身では気づけていない苦手にも気付くことができた。